

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード 168

事業名	男女共同参画センターにおけるフェスティバルの開催、情報誌の発行
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	2,524			決算額計(千円)	1,872		
事業の概要・目的	【男女共同参画フェスティバル】 県民に、男女共同参画への理解を深めていただくことを目的とした、「男女共同参画フェスティバル」を開催する。 【情報誌の発行】 男女共同参画を推進するため、男女共同参画センターの事業内容や、男女共同参画に関する情報等を掲載した情報誌を、年2回(各12,000部)発行する。 市町村や男女共同参画関連施設等への配布及びホームページへの掲載により、広く県民に対し広報・啓発を行う。						
指標名等	数値目標など ①社会全体で男女の地位が平等となっていると思う人の割合(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) ②女性の権利に関する法制度の認知度(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査)						
目標	①増加を目指します ②増加を目指します	実績	-				

2 事業の実施結果

【千葉県男女共同参画フェスティバル2018】 健康社会学者の河合 薫先生による講演会、講演終了後はワークショップ(7団体)を開催した。 【情報誌】 「eパートナーちば」No.24およびNo.25を、それぞれ9月末と3月末(各12,000部)の年間2回発行した。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	-	
★視点2 受益の公平性			
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	

(2)改善点等

<改善した点> 【フェスティバル2019】 事前申込み不要・出入り自由な企画を増やし、イベントに参加しやすい工夫をした。 【情報誌】 幅広い世代、ニーズに合わせた内容を掲載することにより、あらゆる人々に向けて男女共同参画を啓発することができた。
<課題・今後改善すべき点> 【フェスティバル】 あらゆる人が参加しやすくなるよう、魅力ある講師による講演会やワークショップの開催等、更なる工夫をしていく。 【情報誌】 より幅広い世代に興味を持って読んでもらえるよう、掲載内容や紙面構成を更に工夫していく必要がある。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード 169

事業名	各種講座・研修会の開催
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	1,209			決算額計(千円)	928		
事業の概要・目的	男女共同参画社会の実現を目指し、県民意識の醸成や人材育成を図るため、県民ニーズに対応した、各種講座を企画運営する。						
数値目標など							
指標名等	男女共同参画センター各種講座・研修会参加者数						
目標	224名以上	実績	590名				

2 事業の実施結果

【男女共同参画シンポジウム&ネットワーク会議】
 講演会として、瀬地山 角先生による「笑って考えよう。未来のこと、男女(ヒト)のこと」、西山 恵美子先生による「男女共同参画センターのミライ」及びネットワーク会議を行った。

【関係機関との連携講座】
 ・大学等との連携
 千葉商科大学と連携して、「初めの一步を学ぼう！ ホームページ作成講座」をテーマに、女性の起業支援講座を実施した。
 和洋女子大学と連携して、「夏休み！ 親子で学ぼう！！ 野菜不足解消講座」をテーマに、親子で参加ができる食育講座を実施した。

・地域団体等との連携
 千葉県医師会と連携して「『終活』と医療を考える 人生最期の時間をどう生きるか」をテーマに、医師による講演と個別相談会、参加医師によるお話し会を実施した。
 千葉商工会議所等と連携して、「あなたの職場が選ばれる会社であるために必要なこと～人手不足・収益アップの処方箋ダイバーシティ～」をテーマに講演を実施した。

【女性リーダー養成講座】
 地域活動の場などにおいて、リーダーとして活躍する人材育成を目的とし、「もうひと花咲かせ隊」をテーマに、それぞれの女性の目標に合わせて、就労・就農・起業とジャンルを分けて講座を行った。(全9回)

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	

(2)改善点等

<改善した点>
 「女性リーダー養成講座」は、就業・就農・起業とジャンルを分け、女性それぞれが持つ目的に合わせて講義を行い、人材育成の強化を図った。

<課題・今後改善すべき点>
 各種講座の参加者を更に増やすため、今後も講座内容や開催日等の見直し、広報の方法等を工夫する必要がある。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード 170

事業名	ホームページ、メールマガジン等による情報発信
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	0			決算額計(千円)	0		
事業の概要・目的	県及び県内市町村が主催する男女共同参画や女性に対する暴力に関するイベント、協働事業等の情報をメールマガジンに掲載、発行する。また、県内市町村が開催するイベント等を男女共同参画課ホームページに掲載する。						
数値目標など							
指標名等	メールマガジン配信回数						
目標	月2回発行	実績	月2回発行				

2 事業の実施結果

登録者数約1,400人に対し、メールマガジンを月2回発行した。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	-	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	-	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	-	メール配信のため登録者の性別は把握していない。
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	メール配信のため登録者の性別は把握していない。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	-	メール配信のため登録者の性別は把握していない。
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	

(2)改善点等

<p><改善した点> 県内における男女共同参画に関する記事の充実を図った。</p> <p><課題・今後改善すべき点> 男女共同参画に関する情報を周知するため、更なる掲載記事の拡充と登録者数の増加を図る必要がある。</p>
--

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード **171**

事業名	関係機関等が行う研修会等の取組に対する支援
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	0			決算額計(千円)	0		
事業の概要・目的	男女共同参画について理解を深めるため、県職員・教職員に対する研修をはじめ、市町村や企業、各種団体などの依頼により、県職員を講師として派遣する。						
数値目標など							
指標名等	関係機関等が行う研修会等への講師派遣回数						
目標	5回以上	実績	5回				

2 事業の実施結果

市町村や教育庁などから講師派遣の依頼を受け、当課職員を講師として派遣した。延べ5回、634名(男性342名、女性292名)に対し、男女共同参画についての講義を実施した。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	-	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	

(2)改善点等

<改善した点>
 従来の講座は、参加者数に関わらず講義伝達型の研修方法をとっていたが、受身型画一研修から能動的自立研修への転換が求められる中、特に参加者が少数の場合は、ワークショップ型取り入れるなど、参加体験型研修への転換を図った。

<課題・今後改善すべき点>
 更なる開催回数の増加に向け、市町村や企業、各種団体などに向けた周知・広報を充実する必要がある。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード **172**

事業名	あらゆる人々への意識啓発の展開
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	207			決算額計(千円)	142		
事業の概要・目的	男女共同参画計画及びDV基本計画を未策定等の市町村において、男女共同参画啓発及びDV防止パネルの貸し出しを行い、住民意識の向上を図るとともに、市町村における男女共同参画施策の推進を支援する。						
数値目標など							
指標名等	男女共同参画計画及びDV基本計画策定市町村数						
目標	全市町村	実績	39市町				

2 事業の実施結果

市町村へのパネルの貸出について、九十九里町に1回、茂原市に1回、四街道市に1回の貸出を行った。又、6月23日から29日の男女共同参画週間に合わせて、そごう千葉店でパネルの展示会を行った。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	-	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	
3	性に起因する問題に配慮したか	-	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	

(2)改善点等

<改善した点>
 既存のパネルについて掲載情報を更新し、内容の充実を図った。

<課題・今後改善すべき点>
 市町村へのパネルの貸出について、今後も利用を呼び掛けていく必要がある。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード 173

事業名	関係機関との連携による専門講座
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	施策コード169の予算に含む			決算額計(千円)	施策コード169の決算に含む		
事業の概要・目的	男女共同参画社会の実現を目指し、県民意識の醸成や人材の養成を図るための各種講座のほか、大学や地域団体等との連携により専門性・先進性の高い、社会経済情勢に対応した講座を開催する。						
数値目標など							
指標名等	①社会全体で男女の地位が平等となっていると思う人の割合(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) ②女性の権利に関する法制度の認知度(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査)						
目標	①増加を目指します ②増加を目指します	実績	-				

2 事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> ・大学等との連携 千葉商科大学と連携して、「初めの一步を学ぼう！ ホームページ作成講座」をテーマに、女性の起業支援講座を実施した。 和洋女子大学と連携して、「夏休み！親子で学ぼう！！野菜不足解消講座」をテーマに、親子で参加ができる食育講座を実施した。 ・地域団体等との連携 千葉県医師会と連携して『「終活」と医療を考える 人生最期の時間をどう生きるか』をテーマに、医師による講演と、個別相談会(要事前申込)、出席いただいた医師と参加者によるグループ別お話を実施した。 千葉商工会議所と連携して、「あなたの職場が選ばれる会社であるために必要なこと～人手不足・収益アップの処方箋ダイバーシティ～」をテーマに講演を実施した。
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	
3	性に起因する問題に配慮したか	-	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	

(2)改善点等

<改善した点>
 社会の需要に合わせた多様な講座を実施し、多くの県民に参加をいただく事ができた。

<課題・今後改善すべき点>
 参加者に更に満足いただけるよう、講演内容の充実を図っていく。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード 174

事業名	男女共同参画センターにおける相談事業の実施
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	2
当初予算額計(千円)	19,889			決算額計(千円)	18,805		
事業の概要・目的	一人ひとりがそれぞれ自立し、自分らしく生きていけるように、女性及び男性の総合相談窓口として、一般相談及び専門相談を実施する。 また、配偶者暴力相談支援センターとして、DV被害女性の相談・カウンセリングに応じる。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

<p>【女性のための総合相談】 延べ6,953件の相談に応じた。 (電話相談6,278件(うちDV相談793件)、面接相談265件(うちDV相談192件)、カウンセリング345件(うちDV相談189件) 法律相談37件(うちDV相談31件)、こころの相談28件(うちDV相談12件))</p> <p>【男性のための総合相談】 延べ735件の相談に応じた。 (電話相談633件(うちDV相談25件)、カウンセリング102件(うちDV相談15件))</p> <p>【相談業務支援スーパービジョン】 行政機関で同様の相談業務に従事する相談員等の資質向上を図るため、外部の専門家から助言・指導を受けるスーパービジョンを開催した。 講師:平川和子(東京フェミニストセラピセンター所長)(月1回 年度計8回)</p>

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	-	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	-	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	

(2)改善点等

<p><課題・今後改善すべき点> 昨今、運動・活動の増加と、メディアへのアピールの顕在化が著しいLGBTQ等『男性・女性に該当しない性別』の相談者への対応や環境整備について考慮していく必要があると思われる。</p>
--

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード 175

事業名	男女共同参画苦情処理制度の活用
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	2
当初予算額計(千円)	179			決算額計(千円)	23		
事業の概要・目的	男女共同参画社会基本法等の趣旨に則り、男女共同参画に関する県の施策について、県民等から苦情の申出があった場合、千葉県男女共同参画苦情処理委員が公正・中立な立場から調査を行い、適切かつ迅速に処理する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

平成30年度については、苦情の申し出はなかった。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	-	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	-	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	-	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	

(2)改善点等

<改善した点>

<課題・今後改善すべき点>

事業の内容について、各種会議、研修会等での一層の周知を図る必要がある。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード 176

事業名	千葉県男女共同参画推進連携会議の充実
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	3
当初予算額計(千円)	3,652			決算額計(千円)	1,693		
事業の概要・目的	県と連携しながら民間における男女共同参画の自主的な取組を推進することを目的に、産業・地域・教育分野における県域組織で構成された男女共同参画推進連携会議により、県と団体・団体相互の意見・情報交換や研修会、講演会等を開催するとともに、団体及び参加団体へ幅広く働きかけを行う。						
数値目標など							
指標名等	男女共同参画推進連携会議全体会及び各部会参加者数						
目標	457名以上	実績	459名				

2 事業の実施結果

全体会・女性活躍推進特別部会合同シンポジウム及び産業、地域、教育の各部会を、計6回開催した。延べ参加団体数は69団体、参加者数は459名であった。参加者の満足度は非常に高く、事後アンケートでは、各部会参加者の93.6%が「非常に役に立った」「役に立った」と回答した。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画				
	No.	チェック項目	チェック	説明	
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○		
	3	性に起因する問題に配慮したか	○	「男性の仕事・子育て両立支援」をテーマにシンポジウムを開催した。	
	★視点2 受益の公平性				
	No.	チェック項目	チェック	説明	
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	より多くの県民に参加してもらえるように、シンポジウムの開催日を休日の午後にした。	
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○		
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○		
	実施結果・効果	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
		No.	チェック項目	チェック	説明
7		固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	シンポジウムにおいて「男性の家事・子育てへの参画、育児休業の取得促進」をテーマとしたパネルディスカッションを行った。	
8		ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○		
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○			

(2)改善点等

<改善した点>
平成29年度に実施した「女性活躍推進シンポジウム」は、女性の視点からの内容であったので、平成30年度は、「男性の仕事・子育て両立支援」をテーマに、講演とパネルディスカッションを実施した。
また、より多くの県民に参加してもらえるように、開催日を休日の午後にしたことで、メインターゲットとなる男性が3分の2以上、20～40代の子育て世代が半数以上参加するなど、普段、男女共同参画関連イベントへの参加が多くない方々に強く訴えかけることができた。

<課題・今後改善すべき点>
シンポジウムの参加者アンケートの結果から、男性が家庭で家事・子育てを5割以上行っている割合は、全体の1割程度に留るなど、家事・子育てに対する男女の意識差が顕著なことから、「家事ギャップ」などについても考えていく必要がある。
また、更なる参加者の増加に向け、講演会等の開催に係るチラシを関係団体等に配布するとともに、県が実施するイベントや講座など様々な機会において配布するなど、講演会等の開催について幅広く周知する必要がある。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード 177

事業名	千葉県男女共同参画社会づくりネットワーク会議の充実
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	3
当初予算額計(千円)	49			決算額計(千円)	施策コード169の決算に含む		
事業の概要・目的	民間団体と県民が一堂に会し、共通のテーマについて意見交換する機会を提供し、一層の交流促進を図る。						
数値目標など							
指標名等	男女共同参画ネットワーク会議参加者数						
目標	60名	実績	33名				

2 事業の実施結果

男女共同参画ネットワーク会議 実施日：平成30年12月2日(日) 都町合同庁舎への移転後、シンポジウムと同日開催とし、本日の講演で感じたこと・良かったことについてグループワークで意見交換を行い、県民の交流を図った。(シンポジウム：49名、ネットワーク会議：33名参加)
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	-	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	-	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	

(2)改善点等

<改善した点>
 より多くの人と多様な意見交換ができるように、意見交換の方法にワールドカフェ形式を取り入れた。

<課題・今後改善すべき点>
 さらに多くの県民と多様な意見交換ができるよう、十分な時間を確保する必要があると思われる。